

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時:令和8年7月2日(木)

10:40~12:20

場 所:安来市立十神小学校

対 象:6年生

指導者:6年生担任

古代文化センター職員

1 奈良時代のくらしにふれてみよう

～ふるさと安来の歴史と勾玉づくり～

2 本時のねらい

- ・ 地元の歴史について学習することを通して、ふるさとの歴史に対する興味や関心を高める
- ・ 本物の土器に触れたり、勾玉づくりを体験したりすることで、古代の人々の生活の様子や技術などについて考えることができるようにする

3 展開

時間	学習内容	支援
10:40	1 講師の自己紹介、本時の流れを知る めあて 「ふるさと安来の話を聞いたり、勾玉をつくったりして、古代の人々のくらしを知ろう」	・ 見通しをもって学習できるよう、学習内容を伝える
10:45	2 地域の古代の文化について知り、古代人の生活について考える ・ 風土記についての話を聞く	・ 島根県内で出土した土器などを提示する
11:05	3 土器に触れる ・ 奈良時代のくらしについて説明を聞く	・ 土器などの用途について考えやすいよう、近くで観察できるようにする
11:20	(休憩)	
11:25	4 勾玉づくり ・ 勾玉の歴史を知る ・ つくり方の説明を聞く ・ 勾玉づくり ・ かたづけ	・ 勾玉づくりの助言をする
12:15	5 学習のまとめ ・ 感想発表 ・ 講師の先生のお話	

4 準備物

小学校：電子黒板、HDMI変換機、延長コード、振り返り用紙、カメラ、長机3台、たらい、新聞紙

児 童：筆記用具、作業用の軍手、絵の具のバケツ、汚れてもいい服

古代文化センター：PC、パワーポイントデータ、玉製作キット、遺物、配布資料、アンケート、カメラ